Creative Enzymes®

ネイティブ ラクトバチルス・ルテリ グルカンスクラーース（α-グルカノトランスフェラーゼ）

Cat. No. NATE-0304

Lot. No. (See product label)

はじめに

□明	中程度の熱安定性を持つグルカンスクラーース（4,6-アルファ-グルカノトランスフェラーゼ、ロイターンスクラーース）。この酵素は、スクロースからグルコースユニットを転送し、α (1→4) グルコシド結合を持つ高分岐で高分子量のα-D-グルカンを生成し、また一部のα (1→6) 結合したグルコシルユニットも生成します。
別名	アルファグルカノトランスフェラーゼ; グルコシルトランスフェラーゼ; 4,6-アルファ-グルカノトランスフェラーゼ; EC 2.4.1.-

製品情報

種	ラクトバチルス・ルテリ
由来	ラクトバチルス・ルテリ株121
EC番号	EC 2.4.1.-
最適pH	実線、転移酵素活性；破線、加水分解活性（Kralj et al. 2004）。
最適温度	酵素は約50°Cで最適な活性を示します (Kralj et al. 2004)。
構造	Lactobacillus reuteri121からのGtfa163グルカンシュクラーゼ（ロイタランシュクラーゼ）の結晶構造が決定され、図1に示されています（Pijning et al. 2012）。– PDBエントリ 4AMC
単位定義	酵素活性の1単位（U）は、1分あたりにスクロースから1μmolのフルクトースが放出される量です。